



令和元年6月12日

川口市保健所

## 麻しん（はしか）患者の発生について

令和元年6月10日、市内医療機関から、川口市保健所に麻しん患者の届出（臨床診断）があり、翌11日に埼玉県衛生研究所の検査により麻しん陽性と確定されました。

現在、川口市保健所では当該患者の接触者の調査を実施し、感染拡大防止に努めています。

全国的に麻しんが流行しており、市民の皆様に対する注意喚起のため広く情報提供するものです。

麻しんが疑われる場合は、受診の前に保健所または医療機関に必ず電話連絡をしてください。

- 患者の概要 川口市在住、30代、男性、会社員、麻しん予防接種歴不明
- 症状 咽頭痛、発疹、発熱
- 経過等
  - 6月6日 咽頭痛出現
  - 6月7日 発熱
  - 6月10日 発疹出現し、市内医療機関を受診し、川口市保健所に麻しん発生届（臨床診断）
  - 6月11日 埼玉県衛生研究所における遺伝子検査の結果、麻しん陽性が判明した。
- 麻しん（はしか）とは
  - 原因：麻しんウイルス
  - 潜伏期間：10～12日間
  - 症状：感染すると、約10日後に38℃程度の発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が2～4日続き、その後39℃以上の高熱とともに発疹が出現します。
  - 治療：特異的な治療方法はなく、対症療法
  - 感染経路：空気感染、飛沫感染、接触感染で、感染力は非常に強いと言われている。
  - 感染症法：五類感染症、全数把握疾患（診断を行った医師は保健所に届け出ることになっている）
  - 予防方法：ワクチン接種

患者及び患者家族等の個人情報については、プライバシー保護の観点から、本人等が特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いいたします。

問い合わせ

川口市保健所 疾病対策課 感染症係  
電話（代表）048-266-5557